

国体旗 熊本から2000キロ

大館入りは10月1日

秋田国体の開会式に掲げられる「国体旗」のリレー計画がきまりました。

コースは、昨年の第15回国体開催地である熊本県庁前から出発し大分～福岡～山口～島根～鳥取～兵庫～京都～福井～石川～富山～新潟～山形と13府県をリレーして、本県には由利郡象潟町小砂川の県境で引き継がれます。

この間の距離は約2000キロ、25日間、延2万人の若人によってリレーされますが、これは過去15回を通じて、最長の距離となります。

県内入りした国体旗は、小砂川から由利郡を一巡したあと、本荘市から雄勝郡にぬけ、湯沢市、平鹿郡、横手市を回り仙北郡では六郷町、大曲から協和、角館町、田沢湖町を経て、八幡平を北にぬけ花輪町から鹿角郡を巡回し、北秋田郡に入り、大館から鷹巣町、山本郡では二ツ井町、能代市からくだって、南秋田郡を回り、男鹿市。ひきかえして河辺郡から秋田市へ

と、県内72市町村全部を通過することになっています。

大館市内のコースは●10月1日鹿角郡より入り◆十二所、小学校入口(午前11時28分)◆曲田(同11時58分)◆池内、出張所前(同12時34分)◆二井田、出張所前(同12時47分)◆三浦(午後1時3分)◆赤石、出張所前(同1時16分)◆舟場神社前(同1時35分)◆桂高校前(同1時54分)◆長木出張所前(同2時13分)◆釈迦内出張所前(同2時32分)◆これより花矢町に入り、ひきかえして◆釈迦内出張所前(午後5時)◆木材会館前(同5時16分)◆大館市役所着(同5時32分)大館市へ一泊し◎翌10月2日◆市役所前発(午前8時30分)◆餅田、出張所前(同8時52分)◆川口小学校前(同9時5分)これより田代町～鷹巣方面へリレーされます。

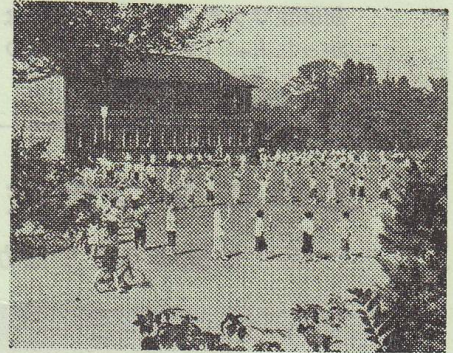
日程表によると、熊本出発は8月30日で、県境での引き継ぎは9月22日。

県内コースの距離は約1300キロ、504区間で参加人員は約1万人となっています。リレー隊は21人の編成で、時速10キロを標準として走ります。

華やかに 選手を迎える夕

国体の大館会場を盛りあげるため10月7日には「選手を迎える夕」が華やかにくりひろげられる。この日は新しく舗装なった大町通りを会場に一時車馬の通行をとめての催しで、城南、城西、桂城、有浦の4小学校6年生による鼓笛隊800人、婦人会300人による民謡踊り、釈迦内、下町、谷地町など有志による獅子舞、桂高校生5～600人によるコーラスなど、夜空

を花火で色どらせての賑かな歓迎の夕を催すとあって、いまから練習にも熱が入っています。(写真は婦人会のマスゲーム練習風景)



八戸市長からお礼の手紙

去る5月29日の、当市の大火にあたりましては、さっそくお見舞いをいただき、感謝に堪えません。

皆さんがお寄せくださった金品は皆さんの暖かいお心とともに、被災者に配分いたしました。

おかげさまで、復興計画も成り、被災者一同とともに、「禍いを転じて福となす」の意気をもって、建設にいそしんでおります。

どうぞ、これからもよろしくご援助とご指導をくださいますよう、お願い申上げて、お礼といたします。

昭和36年6月29日

八戸市長 岩岡徳兵衛

国体成功のねがいをこめて

第12回県体育大会おわる

第12回県民体育大会は、去る7月1日から4日間、秋田市外20ヶ市町村を会場として開催された。

10月に待望の秋田国体をひかえて、各会場での競技は、予想以上の盛りあがりを見せた。

大館ではバレーボール一般、軟式庭球バスケットボール一般の3種目。鳳鳴・桂の両高等学校を会場に華やかな競技が展開された。

参加チームは、バレーボール一般8

チーム、軟式庭球では高校男子124チーム高校女子66チーム、一般男子38チーム、教員5チームの計233チーム。またバスケットボール一般は7チームで、参加選手は約700人でした。準備、運営とも模擬国体の実戦意欲で関係者は汗だく。この大会、成績はまづまづで秋の国体に自信をふかめている。

(写真、上から庭球の開会式、バレーボール、庭球、バスケットの各競技風景)

